

葛飾区都市計画マスタープラン策定委員会 委員名簿（敬称略）

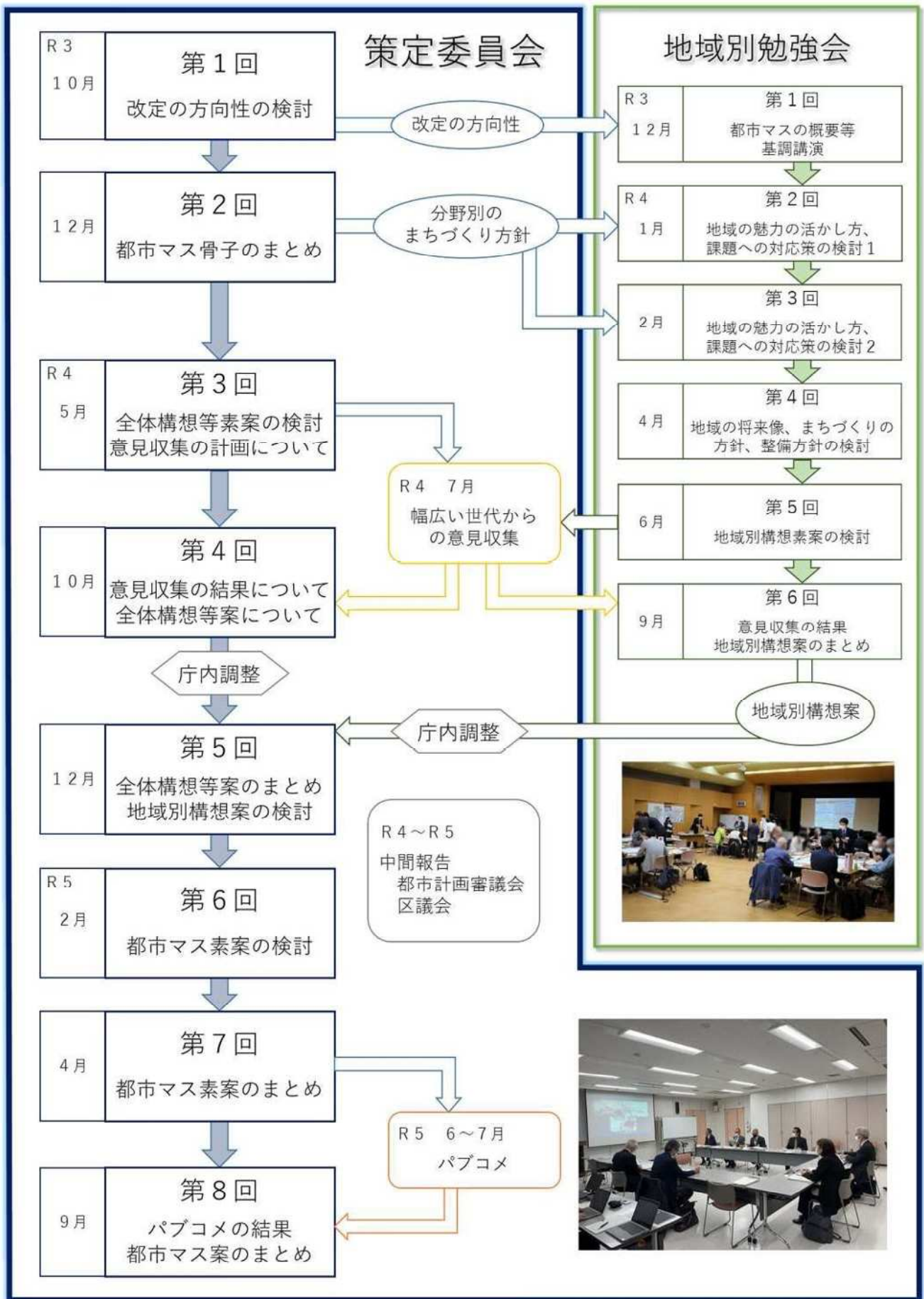
委員長	佐野 克彦	元東京都建設局長
副委員長	加藤 孝明	東京大学生産技術研究所 教授
委員	郷田 桃代	東京理科大学工学部建築学科 教授
委員	轟 朝幸	日本大学理工学部交通システム工学科 教授
委員	阿部 伸太	東京農業大学地域環境科学部造園科学科 准教授
委員	泉山 壘威	日本大学理工学部建築学科 助教
委員	谷澤 多美雄	葛飾区 自治町会連合会
委員	矢部 文雄	東京商工会議所 葛飾支部 副会長
委員	中村 靖雄	東京都建築士事務所協会葛飾支部 支部長
委員	青木 堅治	東京都宅地建物取引業協会葛飾区支部 支部長
委員	吉田 眞	葛飾区都市整備部長
委員	杉本 一富	葛飾区交通・都市施設担当部長
委員	泉山 省吾	葛飾区街づくり担当部長

葛飾区都市計画マスタープラン策定委員会スケジュール

令和3年10月25日	第1回 委員長の選出等 改定の方向性について
令和3年12月23日	第2回 都市マス骨子のまとめ
令和4年 5月27日	第3回 全体構想等素案について 住民意見の反映について (意見収集の予定・地域別勉強会の経過報告)
令和4年10月25日	第4回 住民意見の反映について (意見収集の結果・地域別勉強会の経過報告) 全体構想等案について
令和4年12月頃	第5回 全体構想等案のまとめ 地域別構想案について
令和5年 2月頃	第6回 都市マス素案について
令和5年 4月頃	第7回 都市マス素案のまとめ (その後、パブリックコメント)
令和5年 8月頃	第8回 パブリックコメントの結果報告 都市マス案のまとめ

(参考)

	予定	策定委員会	地域別勉強会
令和3年	10月	第1回	—
	11月	—	—
	12月	第2回	第1回(12/12)
令和4年	1月	—	第2回(1/15)
	2月	—	第3回(2/20)
	4月	—	第4回(4/24)
	5月	第3回	—
	6月	—	第5回(6/11)
	7月	区民意見収集	
	9月	—	第6回(9/3)
	10月	第4回	—
	12月頃	第5回	—
令和5年	1月頃	経過報告(区議会)	
	2月頃	第6回	—
		経過報告(葛飾区都市計画審議会)	
	4月頃	第7回	—
	6月頃	中間報告(葛飾区都市計画審議会・区議会)	
	6～7月頃	パブリックコメント	
	9月頃	第8回	—
	12月頃	都市マス改定	



第 3 回策定委員会における主な意見

項目	意見
葛飾区のまちづくりを取り巻く状況	<p>葛飾区の位置付けとして、ベッドタウンという表現があったが、やはり葛飾だけでは生活が完結しないので、区外、都心とのつながりや役割分担があり、その中で、葛飾はそれらと連携しながら住居地域、生活空間というものを中心に考えられている、ということが全体像に書かれていてもいいのではないか。</p> <p>一方で、産業についての記述が少なく、町工場や観光という言葉はあるが、見出しがないのでどうしても埋もれている。産業を支えるまちづくりというところもどこかにあっていいのではないか。</p> <p>例えば、立石のような下町らしさをしっかり残していく、或いはショッピングモールではなく、商店街を現代らしく変えていくというようなことが方針として書いてあってもいいのではないかと思う。 資料 5 p.37、45、61、69、70、64、80</p>
都市計画マスタープランの基本方針	<p>子どもからお年寄りまで多様な人がいることが、葛飾らしさの一つだと思う。ダイバーシティの時代なので、多様な人がいることを目標のどこかに掲げ、その目標が考慮され、個々具体的な事項に結びつき、記載されているとよい。</p> <p>例えば、ポンチ絵一つにしても子供たちの絵がたくさんあるとか、お年寄りも入っているとか、そういうことがあると、葛飾らしさの一つになるのではないか。 資料 5 p.29～32、46</p>

<p>防災 まちづくり</p>	<p>当面 50 年、あるいは 100 年くらいは、どんどん水害が激甚化していくので、その変化を、都市計画が少し先取りしながら、常にそれに合わせていくという考え方として、第 1 章辺りに「気候変動への適応」というキーワードを入れていただくといいのではないかと思います。 資料 5 p.12、45</p>
<p>市街地整備</p>	<p>エリアマネジメントについては、おそらく公的資料では最新のものとなる、内閣府の「地域再生エリアマネジメント負担金制度ガイドライン」に書かれていることなどを盛り込むと、柔らかいエリアマネになってくるのではないかと思います。</p> <p>現在の記述は、ハードがないとエリアマネジメントができない、という書きぶりに見えるので、住民主体であったり、多様なエリアマネジメントがもっとあるのではないかと考えていて、少し気になる場所である。</p> <p>都市マスなので仕方がないかもしれないが、市街地整備に縛られた方針にしているのか、市街地形成やマネジメントのような言葉が含まれる方がより広がりがあるのではないかと思います。 資料 5 p.61、62</p> <p>ウォークアブルは、滞留空間や歩行者中心の空間だけではなく、交通との両立が結構大事なので、交通体系整備での記載と重複がでてくると思う。ウォークアブルを進めるためには、駐車場の適正配置が必要だが、あまり踏み込むことは難しいと思うので、2つの方針の相互の関係性が全体的に分かる表や図版の掲載、2つの方針の連携があってもいいのではないか。 資料 5 p.43～44、65、72</p>

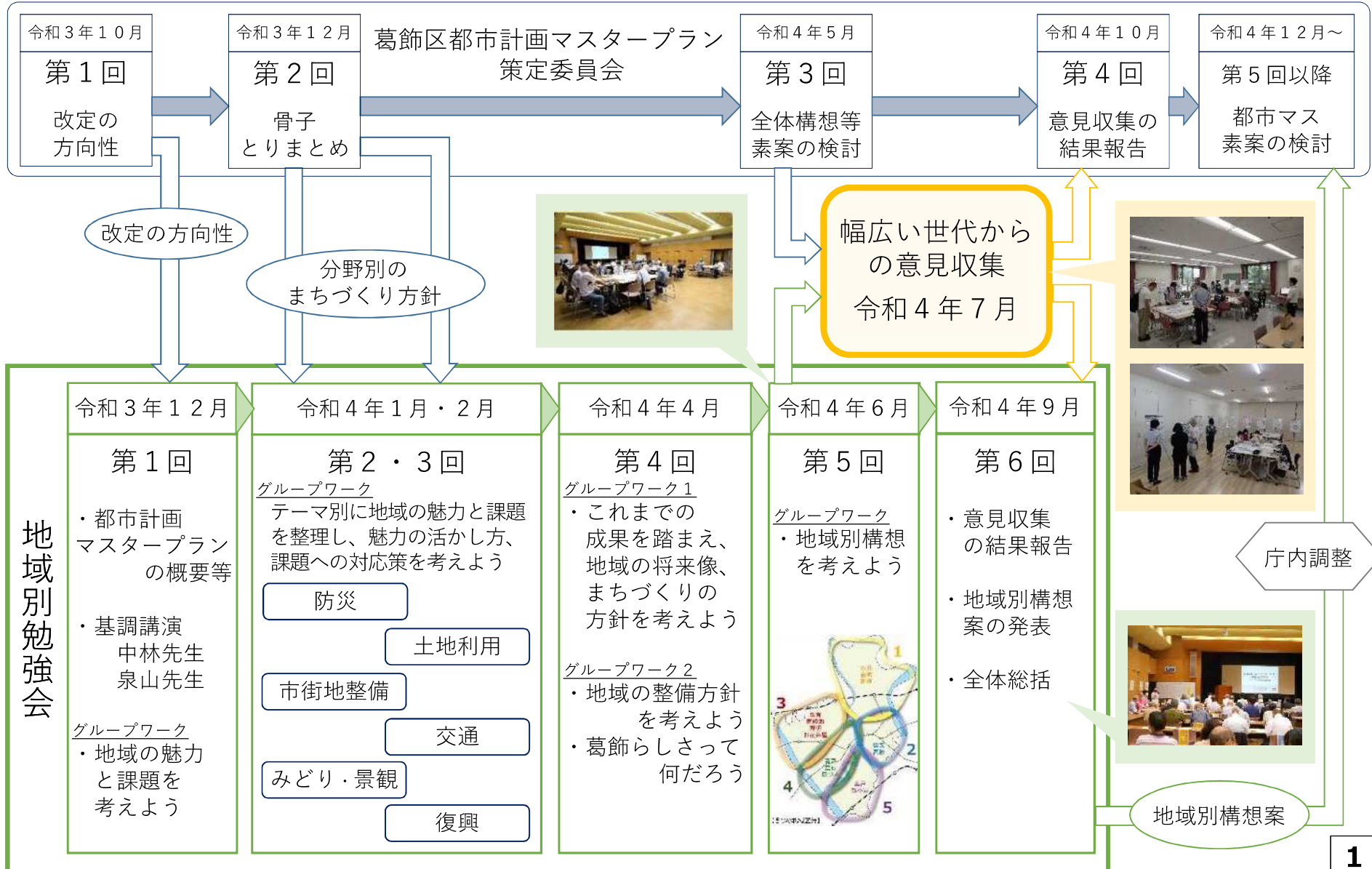
<p>交通体系整備</p>	<p>駅周辺は、区の玄関口として、車だけを中心とした駅前というよりは、きちんと人もお迎えする空間整備ができるようになるのではないかといいのではないかと。 資料5 p.71</p> <p>交通はあくまで手段なので、土地利用や市街地との関連、繋げる、というところの交通目的を書いた方がいい。</p> <p>資料5 p.53 に、道路網の基本構成という図があるが、こういう風にしようということではなく、この間を結ぶのはその周りに市街地があるからであり、交通目的とセットでネットワークがあることを冒頭に書き込んでもらいたい。</p> <p>また、ウォーカブルの話では、交通体系整備の方針の中にも、交通機能としてのリンクと滞在する場所のプレイス、まさに資料4 p.2、都市の広場（パブリック空間）としての道路で提示された写真のような交通空間のことが分かるように書き込んでもらいたい。 資料5 p.67、72</p> <p>資料4 p.4～5、水辺、水面を使うことは非常にいいと思う。交通の分野でも、河川空間が交通空間になればと思っていたが、資料5 p.62 緑と水辺の整備、景観形成の方針の中には、水上交通を検討するとの記載があり、整合を図る意味でも、交通体系整備の方針にも入れていいのではないかと。 資料5 p.44、70</p>
<p>緑と水辺の整備、景観形成</p>	<p>転入者アンケートでは、水辺の環境が好きという方が結構いるが、河川へのアクセス性はあまり良くないので、将来に向けて少し変えていく必要があるのだろう。</p> <p>実際、中川の下流側は親水テラスが出来つつあるが、上流側は水辺の軸のような空間を、利用の仕方を含めて考えていく必要があると思う。 資料5 p.82</p> <p>風致地区の意義は、建蔽率や高さ等が規制されている代わりに、何らかの価値が生み出されているということだと思いが、今は、その価値が生み出されていないかもしれない、という疑いがあるということだろう。</p> <p>風致地区を変更して削除するとなると物議を醸し出すことになるので、客観的な評価を行うことや、地区住民の制度への理解を深めてもらうための努力をしたうえで、議論、検討することが重要ではないかと思う。議論や検討の裏付けとなるデータの整理や調査を十分にやる必要があるだろう。 資料5 p.81</p>

<p>実現化方策</p>	<p>区民の役割は、言葉だけだと分かりづらいので、ビジュアルに、図版が出てくるとより分かりやすいと思う。</p> <p>そのほか、最終的には、全体として区民の方が見やすいビジュアル化、デザインをしっかりとめていただきたい。</p> <p style="text-align: right;">資料5 p.47～92</p> <hr/> <p>文言は抽象的で難しいところがあるので、別冊でもいいので、計画と実施によるビフォー・アフターを区民に見せてほしいし、イメージ図をもっと出してほしいと思う。</p> <p style="text-align: right;">資料5 p.15～26</p> <hr/> <p>区民、事業者、行政の役割分担を整理しているが、現実には、区民だけでは動かない。町会連合会も青少年の会も区役所の担当がついて事務局機能がしっかりしているからやりやすい。</p> <p>また、区民は何も知らないなので、こうやってエリアマネジメントをやればいいよ、こういうメリットがあるよ、と教えてあげないと現実的には誰も手を挙げないと思う。</p> <p style="text-align: right;">資料5 p.62、98</p> <hr/> <p>説明動画は素晴らしい試みだと思うので、できるだけ早く、いろいろな形で区民に発信してもらえれば、区民も盛り上がると思う。</p> <p style="text-align: right;">資料4 p.3</p>
<p>その他</p>	<p>全体構想までは、都市計画や土木というスケールが主体になってくるものの、それぞれの方針の中には、少し小さい建築のスケールでの記述も記載されていて、いいことだと思う。ただ、全体としては、多くの文言の中に埋もれてしまい、パッと見でわからないところもある。</p> <p>第4章の地域別構想には、少し小さなスケールの記述や絵を盛り込んで作ってほしい。</p> <hr/> <p>金町のエリアマネジメントに関わっている方々からの話では、下町らしいということよりも、新しさを求められているということも多分にあると感じる。</p> <p>これは地域や人によって違うわけだが、住民の皆さんが考えている新しさのイメージにつながるような提案が盛り込まれるといいと思う。</p>

住民意見の反映について

住民意見の反映について

- 令和4年7月に、策定委員会で検討中の全体構想等素案と地域別勉強会で検討中の地域別構想素案について、幅広い世代からの意見収集を実施



幅広い世代からの意見収集

・WEBアンケートやオープンハウスにより、全体で2,015人から意見を収集

名称	対象者	収集方法	
<p>若者・子育て・ 現役世代アンケート</p> <p>※説明動画を配信</p>	<p>区内在住 10代～50代</p> <p>1,000人</p>	<p>WEB アンケート</p>	<p>インターネット調査会社</p> <p>令和4年7月1日(金) ～ 7月6日(水)</p>
<p>中学生 アンケート</p> <p>※説明動画を配信</p>	<p>広域拠点周辺を 校区とする区立中学 在学の2年生</p> <p>914人</p>	<p>WEB アンケート</p>	<p>学校配布のタブレット端末</p> <p>令和4年7月1日(金) ～ 7月20日(水)</p> <p>※一部の学校は7月31日(日)まで延長</p>
<p>オープンハウス</p> <p>※広報かつしか、HP、 SNSによる周知</p>	<p>区民等全般</p> <p>101人 (うち、アンケート回答 82名)</p>	<p>対面での 意見収集</p>	<p>区内6か所の会場で対面での意見収集</p> <p>令和4年7月12日(火) ～ 7月19日(火)</p>

説明動画

- 策定委員会と地域別勉強会で検討した素案の要点を6つの項目に分けて、15分の説明動画で紹介

01 都市計画マスタープランとは

役割

- 都市の将来像やその実現に向けた基本理念、目標を示す
- 土地利用などの都市計画の方針、都市整備の考え方を示す
- 区民、事業者、行政による協働のまちづくりを推進する

計画の構成

- 葛飾区のまちづくりを取り巻く状況
- 都市計画マスタープランの基本方針
- 全体構想
- 地域別構想
- 実現化方策

02 基本理念と目標、50年程度先の理想像

目標1

様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち

災害時の被害を低減し、社会活動を継続できる防災都市づくり

被災した場合の迅速な都市復興

- 耐震性に優れた燃え広がらない住宅地
- 水害時、緊急避難できる拠点高台
- 水に浸からない高さにある道路
- 豪雨時に雨水を一時貯留・浸透させる窪地
- 高台化された浸水しづらい市街地
- 日頃から災害に対応する訓練を実施
- 延焼を防止する広い道路と道路沿いの建物

03 都市構造

歩いて暮らせるまちとして、利便性の高い地域構造

歩いて暮らせるまちとして、利便性の高い地域構造

04 分野別方針 防災まちづくりの方針

地震に強い街をつくる

木造住宅密集地域における狭い道路の拡幅

延焼の防止
防火区画の確保
防火生活圏
防火生活圏
防火生活圏

広い道路と建物の不燃化により、燃え広がらないまち

浸水対応型市街地の形成

緊急排水活動拠点
救出救助活動拠点
物資供給拠点
物資供給活動

河川
洪水緊急避難建物
市内市街地(浸水区域)

浸水時のイメージ

05 地域別構想

青戸・立石・四つ木地域

将来像

整備方針図

区の中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち

基本方針

- かつしかの核となる拠点形成
- 防災性を重視した魅力と活力に満ちた住工共存のまちづくり
- 河川と一体となった、回遊性の高い連続的な空間づくり新しい水辺の魅力

- 交通渋滞解消のための連絡立体交差事業の推進
- 四つ木駅周辺の駅前空間の整備
- 木造住宅密集地域の改善のための防災まちづくり
- 河川と一体となった回遊性の高い空間づくり
- 青砥駅周辺のまちづくりの機運醸成と利便性向上

06 実現化方策

街づくりの実施体制と実践

民間事業者
区民
行政

都市計画マスタープランのPR
区民、事業者等が主体の取組の支援
区民、区職員の事前復興意識の向上

K-SDGs指標による進捗管理

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナリシップで目標を達成しよう

都市計画マスタープランの方針ごとに葛飾区版モニタリング指標「K-SDGs指標」の設定

達成状況を進捗管理

若者・子育て・現役世代アンケート

・アンケートの回答に入る前に、アンケート画面上で説明動画を見てもらうよう設定

普段の生活に関するアンケート

モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。
アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

「第三者への口外」に含まれる例

- ・口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
- ・SNSやブログ、掲示板等に書き込む
- ・その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

注意事項

- ・複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。アンケートはひとつずつ、回答ください。
- ・アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。
- ・本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は中断した質問から再開可能です。(システム緊急対応等により再開できない場合もありますので、予めご了承ください。)
- ・回答結果は、当社の「個人情報保護方針」に基づき、性別・年齢・居住都道府県等を付記した上で、本アンケートの依頼主に提供されます。アンケート内で個別に同意を得ない限り、氏名・メールアドレス等の個人を特定できる情報を提供することはありません。

上記の内容をご確認いただき、同意してご協力がいただける場合のみ、「同意し、アンケート開始」を押してアンケートを開始してください。

同意し、アンケート開始

このアンケートでは、動画（音声付き）をご覧いただく質問があります。
動画がみられる設定、音声が聞こえる設定にしてからアンケートを開始してください。
動画はスマートフォンやアプリからもご覧いただけます。

また、このアンケートでは、動画を1本（合計15分程度）ご覧いただけますので、お時間のある時にご回答をお願いします。

次へ

■動画が見られる設定、音声が聞こえる設定にしてから再生ボタンを押して動画をご覧ください。

X2

葛飾区都市計画マスタープランの改定について

04 分野別方針 緑と水辺の環境、景観形成の方針

緑とオープンスペースの保全・整備 魅力ある公園の整備

水辺空間の機能の充実やにぎわい創出 地域特性を生かした景観形成

15:28

※通信環境によっては再生できない、または再生に時間がかかる場合があります。
※動画が再生されない場合、再度再生ボタンを押した上でしばらくお待ちください。
※必ずクリックし、動画をご覧になってからお進みください。

次へ

Q3 将来にわたって残したい葛飾らしさはどれですか？
必須 (3つまで)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 下町人情あふれる住民参加や地域交流がさかん | <input type="checkbox"/> 8. スポーツ施設 |
| <input type="checkbox"/> 2. バスや鉄道等の公共交通が充実 | <input type="checkbox"/> 9. 農路地で遊ぶ子どもたち |
| <input type="checkbox"/> 3. 公園・緑地、みどりが豊かなまち | <input type="checkbox"/> 10. 生活の場と働く場が近くにある町工場 |
| <input type="checkbox"/> 4. 河川等の水辺空間、親水空間 | <input type="checkbox"/> 11. 昭和感が残る個人商店や飲み屋街 |
| <input type="checkbox"/> 5. 買い物に便利 | <input type="checkbox"/> 12. 人の目線の高さ、ヒューマンスケールに配慮した街並み |
| <input type="checkbox"/> 6. 閑静で落ち着いた住宅地 | <input type="checkbox"/> 13. 平坦で自転車利用が多い |
| <input type="checkbox"/> 7. 寺社仏閣 | <input type="checkbox"/> 14. その他 <input type="text"/> (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで) |

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

【普段の生活に関するアンケート】の獲得ポイント

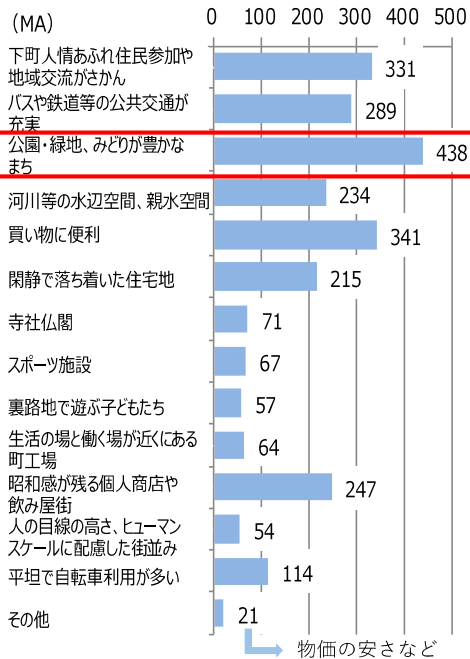
〇〇ポイント

若者・子育て・現役世代アンケート

・豊かなみどりを将来に残したい、水害対応への関心の高さなど、地域別勉強会での意見の傾向と一致

将来にわたって残したい
葛飾らしさ

○「公園・緑地、みどりが豊かなまち」が最多



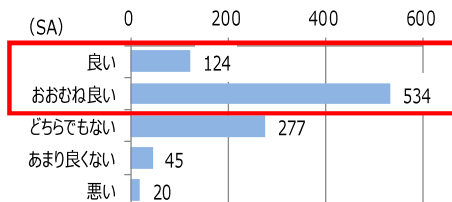
6つの分野別方針ごとに特に重要と思う取組

○防災分野は、水害に対応する取組が上位を独占し、交通分野は「生活道路の拡幅」、「安全・快適な歩行空間の整備」が同率1位、復興分野は「区民・事業者・区が復興まちづくり方針を事前に共有すること」が特に多い

分野別方針	特に重要と思う取組（上位3項目）	(MA)
防災まちづくりの方針	河川堤防の強化（33.0%） 河川の氾濫等による水害時に避難できる中高層建築物や高台の整備（31.7%） 排水能力を超える集中豪雨等による浸水被害（都市型水害）の緩和（28.8%）	
土地利用の方針	主要駅（5つの広域拠点）周辺の広域的な商業・業務機能の集積（35.8%） 車に依存せず、鉄道駅や身近な施設を中心として歩いて暮らせるまちづくり（28.8%） 日常生活を支える商店街の活性化や地域の核となる施設の活用（26.5%）	
市街地整備の方針	商業・業務施設等の導入や道路・公園等の基盤整備を実現する市街地開発（33.4%） 空家対策、集合住宅建設時の周辺環境への配慮など良好な住環境の整備（28.7%） エネルギーの有効活用や緑の保全・創出など環境に配慮した市街地開発（23.0%）	
交通体系整備の方針	幅員の狭い生活道路の拡幅（幅員4m以上を確保）（25.4%） 歩きやすく、安全・快適な歩行空間の整備（25.4%） 新金線旅客化など南北方向の鉄道網の充実（20.2%）	
緑と水辺の整備・景観形成の方針	河川等の水辺空間の充実（公園機能の充実、川沿いの散策路等整備・活用）（28.0%） 魅力向上や社会の課題解決につながる市街地内の緑とオープンスペースの活用（27.7%） 河川等の水辺環境の改善、生物多様性への配慮（21.2%）	
復興まちづくりの方針	区民・事業者・区が復興まちづくり方針を事前に共有（40.8%） 万一の災害時に、地域協働で行う都市と住まいの復興（26.7%） 平時から地域における復興体制と手順を考える復興まちづくり訓練の実施（23.9%）	

50年程度先のまちの姿を描いた理想像

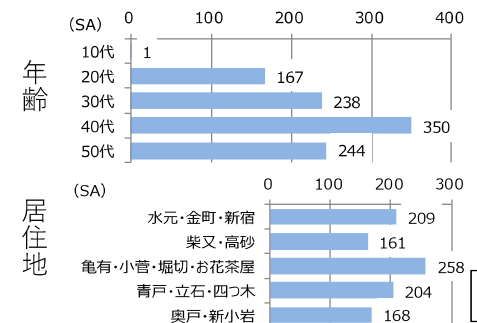
○3人に2人が「良い」、「おおむね良い」と好意的



自由意見

- ・下町の雰囲気を残してほしい
(立石駅周辺の飲食店、下町人情あふれる昔ながらの街並み、なつかしい雰囲気)
- ・画一的で同じにならない景観を考えてほしい
- ・区民に考え方を伝えてほしい
- ・動画が長い、堅苦しい、ナレーションに工夫が必要

(参考) 回答者の属性

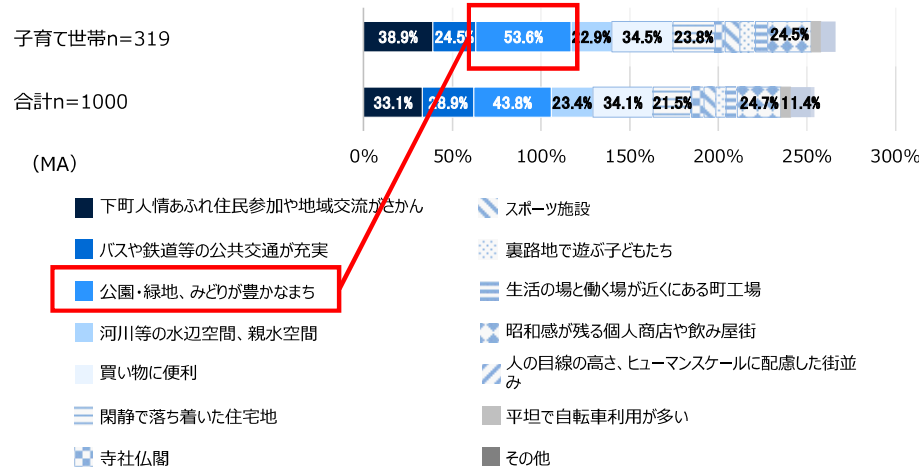


若者・子育て・現役世代アンケート

・今後の人口維持にも影響を及ぼすと考えられる、高校生までの子供と同居する子育て世帯にとって、「公園・緑地、みどりが豊かなまち」、「身近な公園や広場等の配置」といった項目への関心が、全体に比べて高い傾向

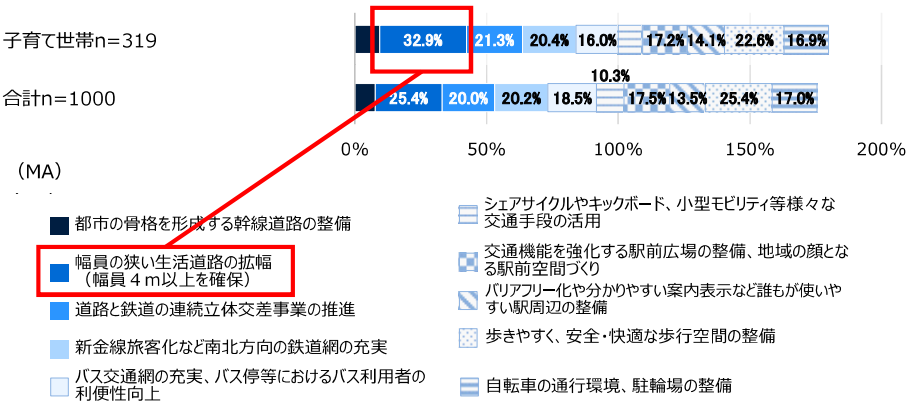
将来にわたって残したい葛飾らしさ

○「公園・緑地、みどりが豊かなまち」が全体と比較して約10%高い



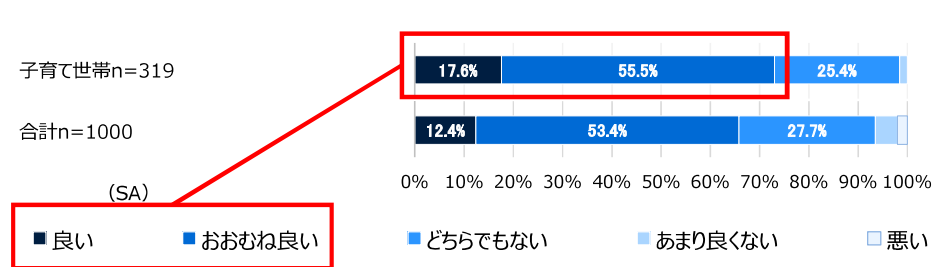
「交通体系整備の方針」で特に重要と思う取組

○交通体系整備の方針では「幅員の狭い生活道路の拡幅」が高く単独1位



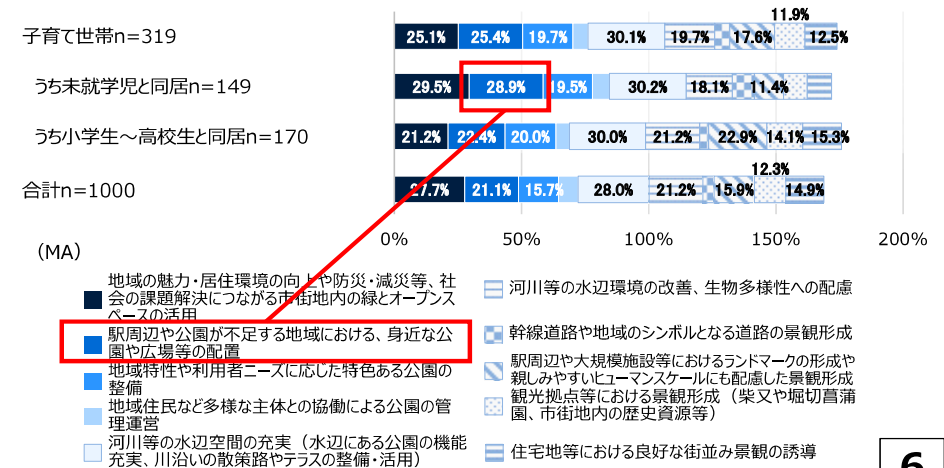
50年程度先のまちの姿を描いた理想像

○「良い」、「おおむね良い」との回答が7割を超え、全体よりも高い



「緑と水辺の整備、景観形成の方針」で特に重要と思う取組

○子育て世帯の中でも未就学児と同居する世帯で「駅周辺や公園が不足する地域における、身近な公園や広場等の配置」が特に高い傾向



中学生アンケート

- ・ 回答画面上に、動画で出てきたイメージ図を掲載するなど、回答しやすいアンケート画面を構成

葛飾区都市計画マスタープラン 中学生アンケート

7月20日(水)までに回答をお願いします。
設問は全部で16問あります。

回答の前に、必ず以下の「都市計画マスタープランの改定について」の動画を見てください。
所要時間は動画視聴を含めて約20分です。

動画は次のURLからも見られます。⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=AGdlnB0uytI>

※回答は1人につき1度としてください。

都市計画マスタープランの改定について

次へ フォームをクリア


葛飾らしさについて

Q1. 将来にわたって残したい葛飾らしさはどれですか？（3つまで選択可）*

- 下町人情あふれ住民参加や地域交流がさかん
- バスや鉄道等の公共交通が充実
- 公園・緑地、みどり豊かなまち
- 河川等の水辺空間、親水空間
- 買い物に便利
- 閑静で落ち着いた住宅地
- 寺社仏閣
- スポーツ施設
- 裏路地で遊ぶ子どもたち
- 生活の場と働く場が近くにある可工場
- 昭和感が残る個人商店や飲み屋街
- 人の目線の高さ、ヒューマンスケールに配慮した街並み
- 平坦で自転車利用が多い
- その他: _____

葛飾区都市計画マスタープラン（まちづくりの目標、50年程度先の理想像）について

Q5. まちづくりの目標1「様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち」*のうち、優先して実現させたい項目はどれですか？（1つ選択）



- 1. 耐震性に優れ、火災が起きても燃え広がらない地震に強い住宅地
- 2. 市街地の風境を防止する広い道路と道路沿いの不燃化された建物
- 3. 水に浸からない高さにある、主要施設や駅まで行ける通路
- 4. 水害時、緊急避難できる拠点高台
- 5. 高台化されて、浸水しづらい市街地
- 6. 豪雨時に市街地の雨水を一時貯留・浸透させる公園内の窪地
- 7. 日頃から災害に対応するための様々な訓練を実施
- 実現したい項目がない

都市計画やまちづくりへの関心について

Q14. 都市計画やまちづくりへの関心はありますか？（関心の度合を1つ選択）*


	1	2	3	4	
関心がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	関心がない

Q15. 都市計画やまちづくりに関して、どのような学びの機会を期待しますか？*（2つまで選択可）


- 学校の授業での学習
- 区職員や専門家等による講習会、セミナー
- テーマを決めて、発表の前や発表の過程で意見を述べ、発表者からの質疑応答

葛飾区都市計画マスタープラン（分野別方針）について

Q10. まちづくりの分野で重要と思うものはどれですか？（2つまで選択可）*




浸水対応型市街地の形成




計画的な土地利用の誘導

防災まちづくり




質の高い市街地開発の推進

土地利用




道路と鉄道の立体交差化

市街地整備



魅力ある公園の整備

交通体系整備



迅速な復興を実現するための事前準備

緑と水辺の整備、景観形成

復興まちづくり

戻る 次へ フォームをクリア

Q16. 葛飾区都市計画マスタープランの改定についての動画をみて、感想や意見があれば記述してください。（任意）

回答を入力

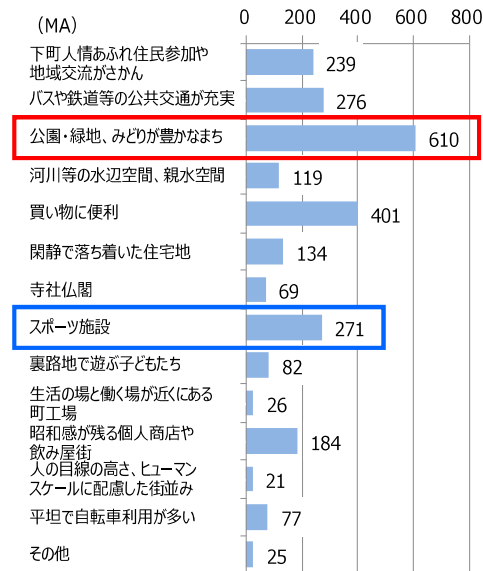
戻る 送信 フォームを

中学生アンケート

・災害への関心も高いが、「水辺や公園、みどりが豊かなまち」といった緑や自然に関する項目、「買い物に便利なまち」といった生活の利便性に関する項目が、他の世代よりも重要視される傾向

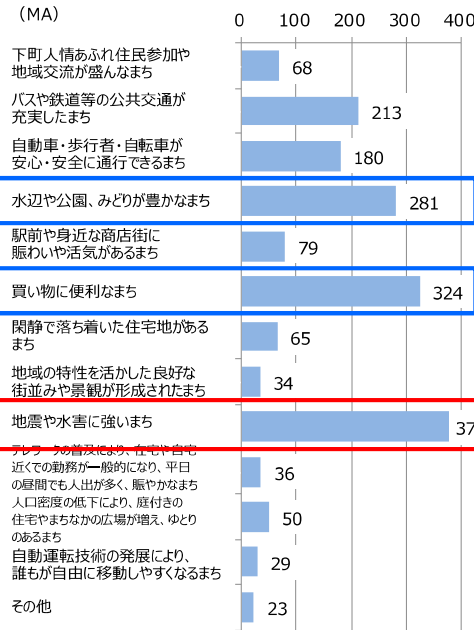
将来にわたって残したい葛飾らしさ

○スポーツ施設が4位となるなど、若者・子育て・現役世代アンケートと異なる傾向



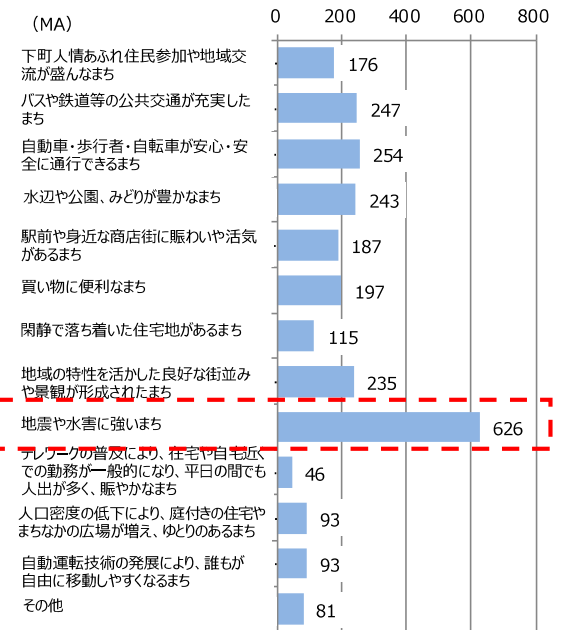
将来住みたい場所の条件

○1位と差のない2位に「買い物に便利なまち」、3位に「水辺や公園、みどりが豊かなまち」



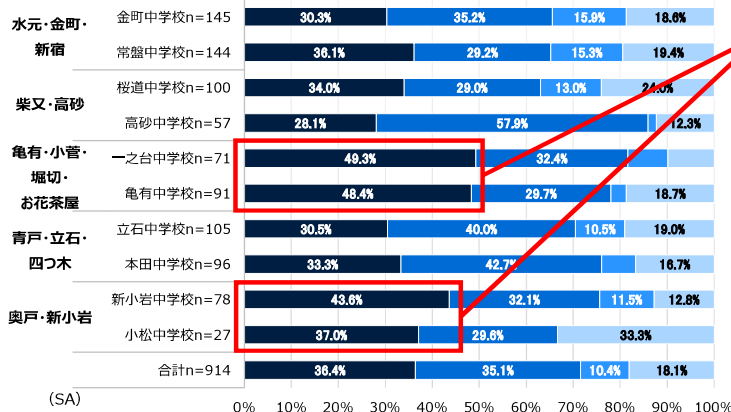
(参考) 20~30年後の葛飾区はどのようなまちであってほしいか

(令和2年度 葛飾区のまちづくりに関するアンケート※)



※無作為抽出の15歳以上世帯主6,000人に調査票を郵送し、世帯構成員最大3名まで回答可能。回答者数1542名

将来住みたい市区町村 (学校別)



○広域拠点の中でも亀有駅や新小岩駅周辺を校区とする学校で、葛飾区内を選択する傾向

将来住みたい市区町村を選んだ主な理由 (自由意見)

○都市計画にかかる理由として、緑や自然、交通や買い物の利便性、人口密度が挙げられる

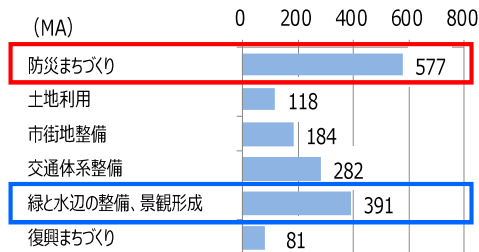
■ 葛飾区内 ■ 葛飾区外の23区内 ■ 23区外の東京都内 ■ 東京都以外

- ・ 葛飾区が好き
- ・ 住み慣れている
- ・ 住みやすい、便利
- ・ 緑、自然がある
- ・ 水元公園がある
- ・ 葛飾の外を見てみたい
- ・ 都会、都心に住みたい
- ・ 買い物施設、お店が多い
- ・ 便利で発展している
- ・ 都内には住みたい
- ・ 交通など色々充実
- ・ 田舎に住みたい
- ・ 自然の中に暮らしたい
- ・ 静かに暮らしたい
- ・ 人口密度が低い

中学生アンケート

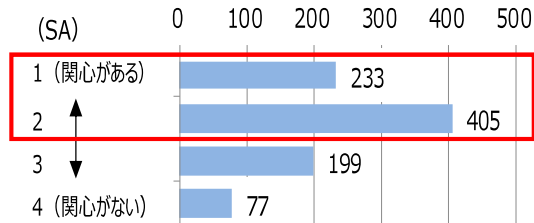
・都市計画やまちづくりへの関心は高いが、学びの機会としては「学校の授業」に次いで、「学生向けのパンフレット」、「ホームページやSNS等」が挙がる

まちづくりの分野で重要と思うもの
○「防災まちづくり」に次いで「緑と水辺の整備、景観形成の方針」が続く



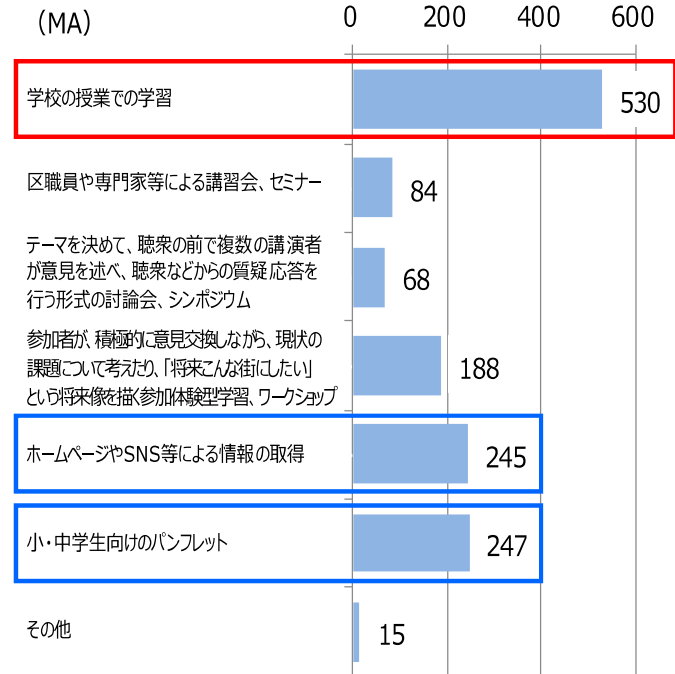
都市計画やまちづくりへの関心の有無

○おおむね7割が「関心がある」と回答



都市計画やまちづくりに関して希望する学びの機会

○「学校の授業での学習」が特に高く、次いで「学生向けパンフレット」、「ホームページやSNS等」が続く



理想像に表現した5つのまちづくりの目標ごとに優先して実現したい項目

○目標ごとに最上位となった項目のうち「耐震性に優れ、火災が起きても燃え広がらない地震に強い住宅地」と「安全快適な通行環境」が4割を超える

(SA)

目標	優先して実現したい項目 (1位)
様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち	耐震性に優れ、火災が起きても燃え広がらない地震に強い住宅地 (46.7%)
人々が集い、憩える、にぎわいある魅力的なまち	病院・店舗・大学・公園などが集まる生活の拠点 (29.5%)
安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち	安全快適な通行環境 (41.0%)
誰もが親しめる、河川や緑豊かな都市環境が広がるまち	豊かな緑に囲まれた住宅地 (28.8%)
多様な主体が協働し、豊かな地域社会を構築するまち	環境に配慮した建物 (27.0%)

(参考) アンケート回収状況

金町中	常盤中	一之台中	亀有中	桜道中	高砂中	立石中	本田中	新小岩中	小松中	合計
145人	144人	71人	91人	100人	57人	105人	96人	78人	27人	914人
74.7%	93.5%	85.5%	77.1%	67.1%	79.2%	81.4%	85.0%	67.2%	22.9%	73.4%

※アンケート期間と移動教室(いわゆる林間学校)期間が一部重なった小松中は、アンケート期間を7月31日まで延長して実施

オープンハウス

・説明動画の上映に加え、全体構想等素案と地域別構想素案の要点を整理したパネルを展示

葛飾区都市計画マスタープラン改定について

■改定スケジュール

■都市計画マスタープランの改定と構成

- 葛飾区都市計画マスタープランの改定
- 葛飾区都市計画マスタープランの基本方針
- 地域別構想
- 実施計画

■まちづくりの基本理念

安全、安心、健康、快適、豊か、持続可能なまちづくり

■まちづくりの目標

1. 安全なまちづくり
2. 安心なまちづくり
3. 健康なまちづくり
4. 快適なまちづくり
5. 豊かなまちづくり
6. 持続可能なまちづくり

第2章 50年程度先の目標が達成された理想像

この理想像は、50年程度先の目標が達成された状態を示しています。緑豊かな環境、水辺の活用、そして快適な生活環境が実現されています。

第3章 将来の都市像

■将来都市構想

将来の都市像は、環境と文化を大切にし、持続可能な発展を目指すものです。

第3章 分界別方針 1. 防災まちづくりの方針

■防災まちづくりの方針

災害に強いまちづくりを推進し、住民の安全と安心を確保します。

水害への対応

地震対策

火災対策

第4章 地域別構想

■水元・金町・新宿地域

賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性を享受できる住み良いまち

- 賑わいと活力ある拠点の形成
- 公園利用、自然環境の活用と水辺環境の形成
- 地域に根ざったコミュニティの形成

第5章 実現化方策

■まちづくりの推進体制

関係機関との連携を強化し、まちづくりを推進します。

■まちづくりの実現化方策

まちづくりの実現化に向けて、様々な方策を講じます。

■まちづくりの推進体制

関係機関との連携を強化し、まちづくりを推進します。

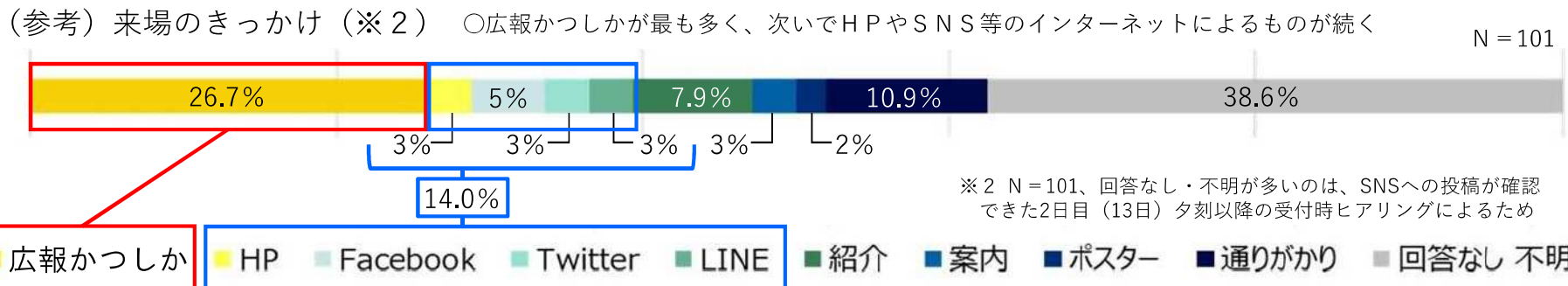
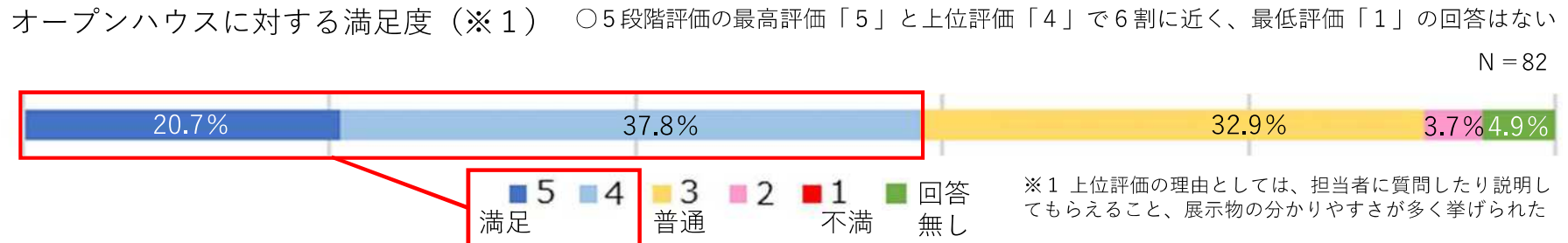
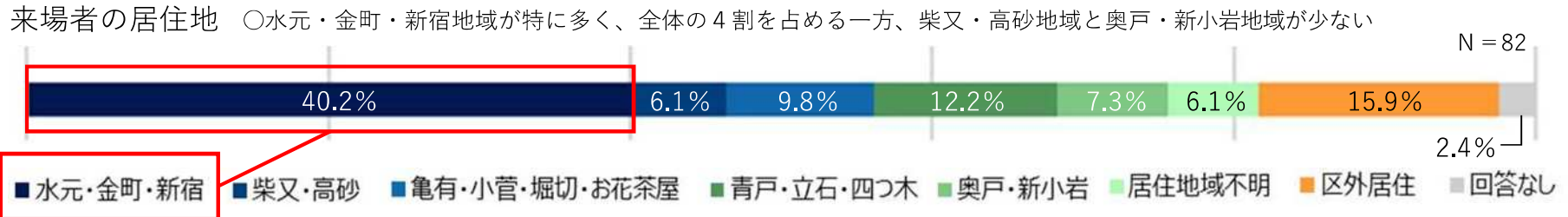
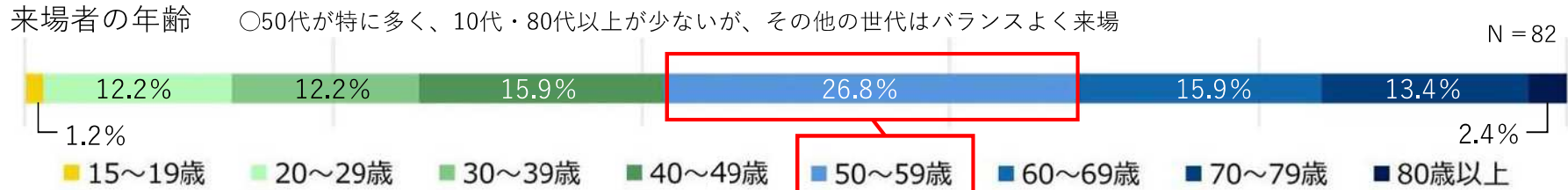
■まちづくりの実現化方策

まちづくりの実現化に向けて、様々な方策を講じます。



オープンハウス

・ 来場者の年齢や地域に若干の偏りを生じる課題はあるが、満足度は、約6割から上位以上の評価



オープンハウス

- ・ おおむね、各素案の中に記述済みの意見や記述を後押しする意見が多い
- ・ 記述済みであっても、伝わりづらかった内容について、今後、表現方法に工夫が必要

主な意見の要旨

計画期間や上位・関連計画との関係性について	50年先、20年後、分野別・地域別にプランがあり、とてもわかりやすい 50年先と20年先のズレが少しあるように感じる 基本構想30年と都市マス50年理想像のリンクが感じられない、違いがあるように見える
新金線旅客化について	新金線旅客化の実現を希望、早く進めてほしい、早期実現 どういった沿線の町を作るのか、横のつながりも見すえて区外からの人を呼びこめる町作りを示して欲しい
水辺の活用について	金町・新宿・亀有・青戸にも、中川河川軸の形成に向けて「親水テラス整備の働きかけ」と「川を活用した地域活動の促進」の記載をして欲しい 水辺に賑わいのある場所をつくるのは地域の魅力になりそう
隣接区市等区外との連携について	隣接都市との連絡、連携等のネットワークは？区内だけ良ければ、と思える感は否めない 足立区や江戸川区と連携し、バスルートなどの南北交通網を充実して欲しい 水害を考える時は区内だけでなくもっと広域で考えるべき
周知方法について	出張所等に資料を置くこと、ホームページ以外の媒体の利用など 多くの人に知ってもらい、多くの人に参加してもらおう工夫がもっとあるといい

第5回・第6回勉強会の実施状況

- 令和4年6月に第5回を実施し、第4回までの成果を踏まえ、地域の将来像、まちづくりの基本方針、整備方針図、整備方針を整理し、意見収集に向けた地域別構想素案を作成
- 令和4年9月には、第6回を実施し、勉強会としての地域別構想案を取りまとめ

第5回（令和4年6月）

グループワーク

- 地域別構想を考えよう



各地域の検討内容は、参考資料4の第5回地域別勉強会ニュース参照



令和4年7月

幅広い世代からの意見収集

第6回（令和4年9月）

- 意見収集の結果報告



- 地域別構想案の発表



- 全体総括



第6回勉強会 意見収集の結果報告

- 意見収集結果の地域別構想にかかる内容について、勉強会で出された意見や第5回勉強会までで作成した地域別構想素案の内容と、おおむね一致し、好意的な評価が多かったことを報告

若者・子育て・現役世代アンケート

各地域で特に重要と思う取組（上位2～3項目を抜粋） <small>下線は30%を超える項目/2位と3位の差が1%未満の地域は3項目抽出/「分からない」除く (SA)</small>	
水元・金町・新宿	水元公園の緑や水辺をはじめとする豊かな自然環境の保全や活用（28.8%） 駅周辺の乗り換え機能の強化や地域全体の交通利便性の向上（20.6%） 金町駅周辺の再開発や回遊性の確保、エリアマネジメントなどによる賑わい創出（20.5%）
柴又・高砂	京成本線の連続立体交差事業の早期実現（35.0%） 柴又駅周辺の観光と良好な生活環境が共存する生活拠点の形成（16.2%）
亀有・小菅・堀切・お花茶屋	亀有駅周辺における地元商店街と大規模店舗が一体となった賑わいの創出（33.2%） 堀切菖蒲園駅周辺の不燃化・耐震化の促進と交通環境の改善や路地裏空間等の地域らしい風情の維持・保全（16.2%） お花茶屋駅周辺での商業環境の向上や密集市街地の改善（15.4%）
青戸・立石・四つ木	交通渋滞、地域分断の解消に向けた京成押上線の連続立体交差事業の推進と高架下の有効活用（23.9%） 立石駅周辺での再開発による公益サービス等の充実やアクセス性の向上とエリアマネジメントの推進（17.5%） 青砥駅周辺での商業・文化施設等を生かしたまちづくりの機運の醸成と安全性・利便性の向上（17.3%）
奥戸・新小岩	新小岩駅周辺の多様な都市機能の誘導や回遊性の向上とエリアマネジメントの推進（26.8%） 浸水に対応する拠点高台の整備などによる水害に強いまちづくり（21.9%）

中学生アンケート






各地域の将来像に対する評価				
水元・金町・新宿	柴又・高砂	亀有・小菅・堀切・お花茶屋	青戸・立石・四つ木	奥戸・新小岩
<p>水元・金町・新宿 母数=289</p> <p>良い 51.2% やや良い 27.3% 普通 15.9% やや悪い 4.5% 悪い 1.0%</p>	<p>柴又・高砂 母数=157</p> <p>良い 49.0% やや良い 22.9% 普通 19.7% やや悪い 6.4% 悪い 1.9%</p>	<p>亀有・小菅・堀切・お花茶屋 母数=162</p> <p>良い 51.2% やや良い 27.2% 普通 14.2% やや悪い 1.9% 悪い 5.6%</p>	<p>青戸・立石・四つ木 母数=201</p> <p>良い 50.7% やや良い 22.9% 普通 17.9% やや悪い 4.0% 悪い 4.5%</p>	<p>奥戸・新小岩 母数=105</p> <p>良い 61.0% やや良い 22.9% 普通 13.3% やや悪い 1.9% 悪い 1.0%</p>
<p>良い 78.5% やや良い</p>	<p>良い 71.9% やや良い</p>	<p>良い 78.4% やや良い</p>	<p>良い 73.6% やや良い</p>	<p>良い 83.9% やや良い</p>

オープンハウス（付箋や来場者アンケートでの自由記述）

主な意見 <small>下線は委員会での議論にも関係のある項目</small>
<ul style="list-style-type: none"> 水元地域の交通不便の解消 水元地域の農地の維持 金町駅南口でエリアマネジメント推進 理科大学通りの歩道が狭い 柴又駅周辺の回遊性を高める 高砂駅の踏切を無くするため鉄道の立体化を促進してほしい 高砂駅周辺の整備を進める（駅ビル、タクシールーム等） 亀有駅北口商店街の賑わい創出 曳舟川親水公園の活用 小菅周辺の景観資源を活かしていく（寺院、水路、拘置所等） 青砥駅のバス乗り場が分からない 四つ木駅前の再開発 立石駅付近が近代化されると使いやすく住みやすい 立石駅付近の雑多なまちは好き 新小岩駅周辺の都市開発 末広通りの拡幅

第6回勉強会 地域別構想案の発表

○各地域の代表が地域別構想案を発表後、中林先生から講評、地域別勉強会の全体総括

水元・金町・新宿地域	柴又・高砂地域	亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域	青戸・立石・四つ木地域	奥戸・新小岩地域
<p>(地域の将来像)</p> <p>賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性を享受できる住み良いまち</p> 	<p>(地域の将来像)</p> <p>魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の都市機能創出による、賑わいある多世代が暮らしとなる水辺のまち</p> 	<p>(地域の将来像)</p> <p>広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、商業の賑わいと安全・快適で住み続けたいくなる、自然と歴史を残すふるさとのまち</p> 	<p>(地域の将来像)</p> <p>区を中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち</p> 	<p>(地域の将来像)</p> <p>世代間交流が盛んで魅力的な広域拠点の形成と、親水と浸水が両立した災害に強く緑が充実したまち</p> 
<p>(地域の整備方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水元公園等の緑や水辺をはじめとする豊かな自然環境の保全活用 ・金町駅周辺における再開発やUR金町駅前団地ストック再生を契機とした拠点性強化 <p>など</p>	<p>(地域の整備方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連続立体交差事業を契機とした市街地整備 ・柴又駅周辺における都市基盤整備による駅へのアクセス性と回遊性の向上 <p>など</p>	<p>(地域の整備方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亀有駅周辺での地元商店街と大型店舗が一体となった賑わいの創出 ・堀切地域における建物の耐震化・不燃化の促進、路地裏空間などの街並み景観の保全 <p>など</p>	<p>(地域の整備方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青砥駅周辺での観光資源や商業・文化施設などを活かしたまちづくり ・市街地と河川の回遊性の向上、水辺空間の多目的な利用(東立石緑地公園の活用等) <p>など</p>	<p>(地域の整備方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新小岩駅周辺での駅前広場や自由通路など交通結節機能強化 ・補助281号線の整備に合わせた沿道街づくり ・新小岩公園の浸水対応型拠点高台化 <p>など</p>



中林 一樹 氏 / 東京都立大学 名誉教授

■ 講評・全体総括

どんなまちにしたいのか、皆さんが知恵を結集し、議論してまとめられたと思います。

これらの構想を「絵に描いただけの塗紙計画」に終わらせず、「みんなの都市計画」として、どのように実現するか、それには「地域協働」という言葉がありますが、今は、区民と行政とが役割分担して、一緒にまちづくりをする時代です。行政でつくられた「ハード」を「生きたまち」にするために「どう使っていくか」は、皆さん次第です。「私たちが何をやったらまちづくりが実現できるのか」と区に問いかけ、やれるところからぜひ取り組んでください。